

「農林水産委員会」

2019年5月27日

6月12日

6月24日

10月3日



自然災害時の対応、豚コレラ、6次産業化、農地の市街化、林業のエリートツリーへの期待。等々、多岐にわたる議論と検討が行われた。

10月3日の質問内容

【朝日将貴】問1

名古屋競馬場の弥富トレーニングセンターへの移転は、2022年4月の開業へ向けて、既に基本設計も終え、弥富市に提示されている。敷地の木の伐採等、地元の人から見ても、既に工事が進んでいるといった印象を受ける。不安と期待の意見が寄せられているが、本年8月9日に行われた地元説明会での意見、要望の内容について伺う。

【畜産課主幹(管理・競馬)】

主な意見、要望としては、
・新競馬場の詳しい情報や建設計画を提供してもらいたい。

・交通量に関する考え方を説明してほしい。
・名古屋港区の名古屋競馬場の運営状況と比較して説明すべきである。
・地元にとってよいことを提示してほしい。
・地元から要望等を出したい。
・小まめな情報交換を希望する。
・今後の情報交換のペースを知りたい。
などがあった。

【朝日将貴】問2

地元の意見、要望に対する愛知県競馬組合と県の意見を伺う。

【畜産課主幹(管理・競馬)】

説明会当日は、詳しい情報や建設計画、交通量に関する考え方、名古屋競馬場の運営状況との比較は、次回以降の地元説明会でより具体的な資料を用いて説明すると回答している。地元にとってよいことは、いわゆる地元貢献だが、PFI事業者と競馬組合が協議している内容等を今後開催される地元説明会で示す。

地元からの要望は、競馬組合も県も真摯に耳を傾けたい。情報交換の場は、ある程度の方針や実施設計の形が出てきた段階で説明する予定であり、それ以外の項目についても地元と相談の上で適宜開催する予定である。

【朝日将貴】問3

実施設計の時期はその説明会で示したか。

【畜産課主幹(管理・競馬)】

説明会では具体的な工期は説明していないので、機会があれば、スケジュール感も説明したい。

【朝日将貴】問4

地元貢献の意見が出たと聞いているが、金銭面の期待が一番多いと思う。

そのほかに、駒野エリアが以前のように復活して、人が集まり、消費されるような場所になってももらいたいとの声もあったと聞いている。

弥富市は、金魚の街というイメージがある。最近、金魚もきれいな照明を当てて鑑賞を中心とした展示を行うことも全国的にかなり広まっている。長島温泉から刈谷ハイウェイオアシス、レゴランド・ジャパンがある延長の中で、弥富市も名乗りを上げれば観光の一つの拠点となると期待する。そういう位置づけで地元の要望を聞いてもらいたい。PFI事業者の考えを伺う。

【畜産課主幹(管理・競馬)】

PFI事業者は、地域住民の集いの場所の提供、子育て支援、NPOなどへの活動スペースの提供、フリーマーケットの場所提供といったイベント開催によるにぎわい創出を目指していると聞いている。

また、PFI事業者の代表企業はリース会社であるので、その特性を生かした観光事業プランは、十分検討に値すると思う。

【県への要望】

これから地元の要望をまとめて、弥富市から正式に要望が上がってくると思うが、金銭面も含めた真摯な対応を要望する。

「調査・研修・視察」

県の総合的な調査研修、各委員会での調査研修及び、有志での研修などに積極的に参加しました。

【安全・安心対策特別委員会視察】



【自民党愛知県連青年局研修会】

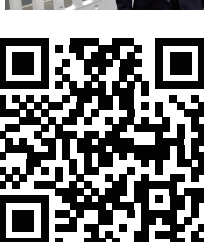
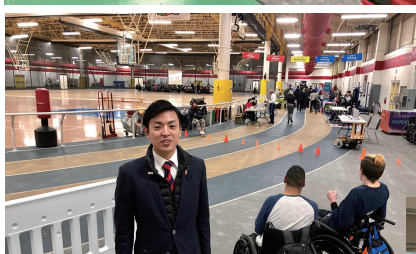


【アメリカ合衆国・カナダの視察研修】

・港湾振興施策
・スタートアップ戦略の推進
・障がい者スポーツ普及促進等調査研修



【農林水産委員会視察研修】



愛知県の
スタートアップ戦略って？